

平成 24 年 8 月 21 日 00080 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

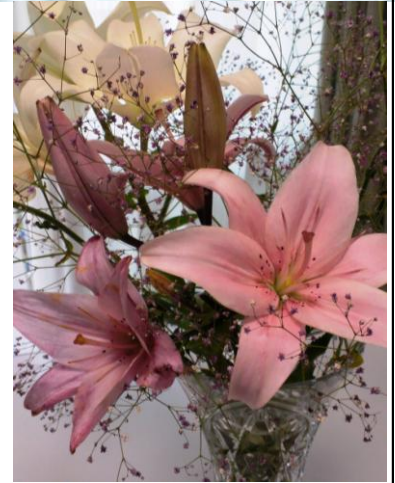
代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】残暑お見舞い申し上げます

お盆が過ぎても蒸し暑さが続いています。油断なく水分補給をして熱中症にご注意下さい。写真は、奥の薄黄色の花は「スカシユリ」(3/12・4/28 の誕生花)、手前のピンク色の花は「ルレーブ」と言う品種の百合です。百合には多くの種類があり、原種は 100 を超えるとも言われています。日本で生まれた品種の一つ「オニユリ」は、8/30 の誕生花にもなっています。尚、百合の花言葉は、全ての品種に対して「威厳・純粹・無垢」、薄黄色のスカシユリは更に「注目・陽気・飾らぬ美」。ピンク色のルレーブは「稀少」という意味があります。



【柔道情報】安全指導講習会に北見市柔道協会より講師派遣

北見市教育委員会は 8 月 8 日「柔道の安全指導」講習会開催にあたり、北見市柔道協会に講師派遣を依頼しました。これを受けて 8 月 20 日北見市柔道協会理事会の議決により佐藤壽春七段を講師として派遣することを決定しました。開催日時 9 月 26 日(水) 15:00、会場は北見市体育センター(第二)、対象は北見市内中学校の教諭(柔道を指導(予定)するもの)となっています。



《特別企画》連載【週刊氷川丸】①氷川丸と世界平和

平和の祭典ロンドンオリンピックは、世界中の人々に感動と生きる勇気を与え開幕しました。また、8 月 15 日は 67 回目の終戦記念日を迎えています。外航貨客船として、戦前戦後 30 年間を強く逞しく、日本と世界の平和のために奔走した日本の貨客船「氷川丸」をお伝えします。

氷川丸(ひかわまる)は現在、横浜市山下公園前の横浜港に博物館船として係留されています。1930(昭和 5)年 4 月 25 日竣工し、同年 5 月 13 日北太平洋バンクーバー・シアトル航路の貨客船として就役しました。

戦前戦後、激動の日本経済を支えると共に多くの人々の人命をも救い、世界平和に大きく貢献しました。講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の終焉の地ともなる氷川丸は、太平洋戦争の惨禍を生き延びた唯一の日本優秀外航貨客船です。また、終戦直後は、引揚者の輸送に奔走しました。「戦前・戦中・戦後」1960(昭和 35)年除籍となるまでの 30 年間、その時々に応じた役割を見事に果たし、休むことなく活躍した氷川丸の軌跡をシリーズでご紹介します。次週は氷川丸と姉妹船をお伝えします。



30 年間、その時々に応じた役割を見事に果たし、休むことなく活躍した氷川丸の軌跡をシリーズでご紹介します。次週は氷川丸と姉妹船をお伝えします。